

中国の公共交通機関と広告について

みなさま、こんにちは。11月に入り気温もだいぶ冷え込むようになり乾燥も厳しさを増しています。今回は日本とは少し違った公共交通機関と街中で目にする広告についてレポートします。

中国の主な公共交通機関はバスとタクシーです。太原にはこの他に**高铁**（ガオティエ）と呼ばれる新幹線があります。あと2年後には太原にも地下鉄ができるようです。

私が主に使っているのはバスです。料金は先払い制で、一律3元です。私たち4人が住んでいる山西大学商務学院から山西大学のある太原市内まで出る際に非常にお世話になっています。バス停には時刻表は無く、来たバスに乗るため人と待ち合わせをしている際には注意が必要です。また時間帯にもよりますが、バスに人が乗れない際にはバス停に泊まらずそのまま通過してしまうことも多々あります。

バスに乗る際に注意しなければならないのが、降車時と終バスの時刻です。中国のバスには停車ボタンがありません。そのため、降車する2つ前のバス停を通過したら出口付近に立つ必要があります。ときどき運転手の人**「有没有？（ヨウメイヨウ？）**」と乗客に聞いてくるので、もし自分が下りたいときには**「有！（ヨウ!）」**と言います。降車ドアの近くに停車ボタンが2つほどついていましたが、あまり使っていないようでした。

終バスの時間についてですが、だいたい20時前後で終了するようです。終バスの時刻が過ぎていても運が良ければ最後のバスが来ます。仮にバスを逃してしまった場合には**「滴滴（ディーディー）」**というタクシーアプリを使用します。アメリカのUBERのようなサービスで、市内専用のタクシーや市をまたぐタクシー、運転代行サービスも行ってくれる優れたものです。日本でも導入できれば、公共交通機関を利用できない高齢者にとっても便利ではないかと思いました。

バス停をはじめ、街中でよく見かける広告に次のようなものがありました。大学構内でもよく見かけるもので**「社会主義核心价值观」**と書いてあります。これらの広告は日本という公共広告と同じようなイメージで、様々な場所で見かけることができます。バスに乗っていると、時々放送されています。日本ではあまりこのような広告を目にするのは無かったので、新鮮でした。



山西大学付近のバス停です。



バス停にある標語です。



太原南駅の地下通路にある公共広告です。中国では至る所で見ることができます。